

MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

MCN REPORT

県からの 平成28年度 業務実績評価結果

が公表されました

Vol. 33
2017.11



第1回公開講座(9月3日)(5頁)



木戸准教授(4頁)

主 な 内 容

業務実績に関する評価結果	1・2
連携協力協定病院紹介（鈴鹿中央総合病院）	3
教員インタビュー（精神看護学 木戸准教授）	4
大学の出来事・キャンパスカレンダー	5・6
さらなる発展と人材育成の充実に向けて	裏表紙



10月、みかん実る(6頁)



三重県立看護大学
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット
キャラクター
「みかんちゃん」

業務実績に関する評価結果

平成 28 年度業務実績に関する評価結果について

本学の設立団体である三重県の附属機関の三重県公立大学法人評価委員会は、地方独立行政法人法に基づき本学の平成 28 年度業務実績の評価を行い、平成 29 年 8 月、評価結果を三重県知事に報告のうえ公表しました。

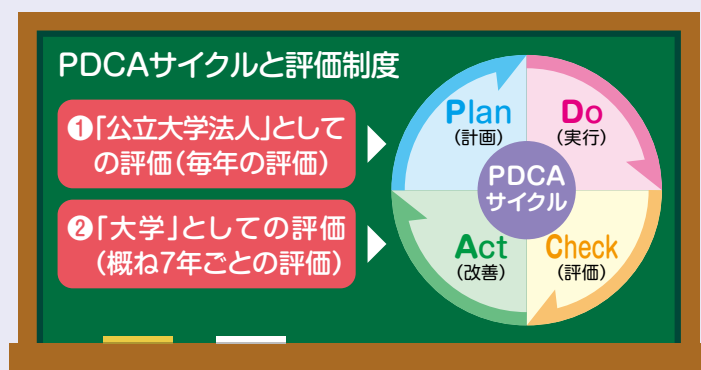
今号では、公立大学法人の評価や計画のしくみをご説明のうえ、今回の県からの評価結果をお伝えします。



1

「公立大学の評価制度」とは

あらゆる組織は、「PDCA サイクル」を繰り返して組織をよくしています。公立大学法人においては、根拠法令が異なる次の2つの評価制度で、この「PDCA サイクル」を回しています。



今回公表されたのは、①の「公立大学法人」としての評価です。

ちなみに「三重県立看護大学」は、「法人（大学を運営する組織）」という顔と、「大学」という顔の2つの顔があります。
(法人が大学を運営するものですが、法人と大学、どちらもトップは同じ人（理事長＝学長）です)



2

大学全体の計画（中期計画と年度計画）

公立大学法人三重県立看護大学は、2つの計画を策定しています。

「中期計画」を達成するために毎年策定するのが「年度計画」です。

本学の各計画の主な計画・目標

①第2期中期計画

6年間（平成 27 年度～平成 32 年度）

●基本的な考え方

1. 質の高い教育・研究の実践
2. 地域貢献、地域連携の推進
3. 適切で効率的かつ透明性の高い組織運営

②年度計画

毎年（単年度の計画）

③中期計画の目標と年度目標・実績（主な指標）

指標名	説明	中期目標（中期計画の目標 （平成27年度～平成32年度）	平成29年度目標 （年度計画の目標）	平成28年度 実績
国家試験 合格率	看護師試験合格率	100%	100%	99.1%
	保健師試験合格率	100%	100%	98.1%
	助産師試験合格率	100%	100%	100%
国家試験 合格者数	看護師試験合格者数	95人以上	95人以上	105人
	保健師試験合格者数	95人以上	95人以上	104人
	助産師試験合格者数	10人以上	10人以上	13人

中期目標、年度目標とも、上図の指標のほか「県内就職率」「大学主催の公開講座の参加者の満足度」等、それぞれ計 23 の指標で構成されています。





3

県からの通信簿（「平成28年度業務実績評価」の概要）

①評価の方法

三重県が設置した三重県公立大学法人評価委員会（委員：外部有識者5名）により、公立大学法人三重県立看護大学による自己評価を確認しつつ、中期目標の実施状況、業務実績を右図の項目により点数付けしながら、全体的な評価を決めていきます。

評価項目（大項目）	I 大学の教育研究等の向上に関する項目	1 教育に関する項目 2 研究に関する項目 3 地域貢献等に関する項目	教育研究の特性に配慮すべき項目
	II 業務運営の改善および効率化に関する項目		教育研究の特性に配慮すべき項目以外の項目
	III 財務内容の改善に関する項目		
	IV 自己点検・評価および情報の提供に関する項目		
	V その他業務運営に関する重要項目		

②全体評価

（「公立大学法人三重県立看護大学 平成28年度業務実績に関する評価結果」の「1 全体評価」より）

(1) 大学の教育研究等の向上に関する項目

第1の教育に関する項目、第2の研究に関する項目については、専門的な観点からの評価は行わないものとし、地方独立行政法人法第79条の規定により、認証評価機関の教育及び研究の状況についての評価をふまえることとするため、法人から提出された業務実績報告書に基づき、事業の外形的・客観的な進捗状況について確認した。

教育に関する項目については、教育内容、教育の質の向上、学生の支援の目標について取り組まれており、いくつかの項目について顕著な成果が認められ、年度計画を順調に実施していると認められる。

研究に関する項目については、研究水準及び研究の成果、研究実施体制等の整備の目標について取り組まれており、年度計画を順調に実施していると認められる。

(2) 上記以外の項目別評価

項目名	評価	S	A	B	C	D
I-3 地域貢献等			○			
II 業務運営の改善および効率化			○			
III 財務内容の改善			○			
IV 自己点検・評価および情報の提供			○			
V その他業務運営			○			

S…特に優れた実績 A…順調に実施 B…概ね順調に実施 C…十分に実施していない D…大幅な見直し、改善が必要

(3) 全体評価結果

公立大学法人三重県立看護大学の第二期中期目標期間の2年目にあたる平成28年度の業務実績は、年度計画を計画どおり遂行しており、全体として中期計画を順調に実施していると認められる。

今回の評価結果を活用し、さらに積極的に改革・改善を行うことにより、教育・研究・地域貢献等、大学運営全般が一層充実されることを期待する。

ざっくり言うと「公立大学法人三重県立看護大学は中期目標の達成に向かって順調に取り組んでいる」という評価を三重県から頂きました。
（ただし、(2)での評価は全て「5段階中の4」となっており、「よくできているが、満点までは……」とされているようにも見えます。）



4

今後に向けて

今後も、よりよい大学づくりをめざし、中期目標の達成に向けてしっかり取り組み、高い評価を頂けるように進めてまいります。

なお、学内の経営審議会では、外部委員から「評価委員会による評価はいわゆる『オール4』であり、堅実な運営であると評価できる一方で、学生にとって魅力的な大学となる観点からは、大学の特色を明確に打ち出すべき。」との意見もありました。

この意見を意識し、現状や地域のニーズをふまえながら、さらに大学の特色を打ち出していきたいと考えています。

本学の計画や評価の詳細については、下記の本学ホームページをご覧ください。

<http://www.mcn.ac.jp/about/person/goal> （トップページ＞大学案内＞法人情報＞目的・計画・評価）

連携協力協定病院紹介

連携協力協定病院（三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院）

平成 29 年 4 月に本学との協定を締結した鈴鹿中央総合病院様から、病院の概要や看護部の人材育成などについてお教えいただきました。

「人に寄り添うことを大切にした看護」

鈴鹿中央総合病院は、F1 グランプリや 8 時間耐久レースが行なわれる鈴鹿サーキットのお膝元、亀山市を含む北勢医療圏の地域基幹病院です。

看護部では、「人に寄り添うことを大切にした看護」をキーワードに、患者さんはもちろんのこと、すべての人に寄り添うことを大切に、日々看護を行なっております。また看護師のワークライフバランス実現のため、仕事と生活の調和を大切に、働き続けられる職場環境を目指しています。



平成 29 年 4 月より連携協定を締結し、人事交流で 1 年間の職員派遣をさせていただきました。基礎看護教育のあり方について学び、その経験を当院の臨地実習の場で生かすことができいております。入職後は、看護師のキャリアアップを支援できるよう当院独自の SGH 継続教育システムを活用し、自らのキャリアをデザインしながら看護職としてのレベルアップに繋がられます。

これから緩和ケア病棟の増築、内視鏡センターの開設等を予定しており、地域の患者さん・学生さんからも選ばれる病院を目指し、三重県立看護大学との連携をさらに深めていきたいと思っております。
(看護部長 真弓 清子)



平成 30 年度に緩和ケア病棟増築予定（完成予想図）

病院情報

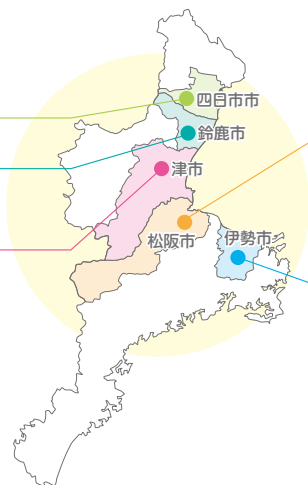
三重県厚生農業協同組合連合会 鈴鹿中央総合病院 [昭和 13 年 5 月開設]

- ❖ 病床数：460 床（一般病棟）
- ❖ 診療科目：内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、血液・腫瘍内科、呼吸器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、精神科、麻酔科、皮膚科、放射線治療科、放射線科、リハビリテーション科、神経内科、眼科、呼吸器外科、心臓血管外科、リウマチ科、病理診断科、緩和ケア内科

連携協力協定病院一覧

県内 9 病院

- 地方独立行政法人
三重県立総合医療センター
- 三重県厚生農業協同組合連合会
鈴鹿中央総合病院
- 三重県立こころの医療センター
- 独立行政法人国立病院機構
三重病院
- 三重県立一志病院



- 松阪市民病院
- 社会福祉法人恩賜財団
済生会松阪総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会
松阪中央総合病院
- 日本赤十字社 伊勢赤十字病院

(平成 29 年 8 月現在)

教員インタビュー

き ど よしふみ

木戸 芳史 准教授 インタビュー

平成 28 年 4 月から本学で精神看護学領域の授業科目を担当している木戸芳史准教授に、ご自身の研究内容や、大学院専門看護師コース（精神看護学）への思いについてお聞きしました。

「入院医療から地域生活を中心とした支援への移行の中で」

Q1 三重にお越しになり2年近く経ちましたね。

実は、三重県には着任するまで来たことがなくて…。この2年間で県内の観光地巡りや温泉巡り、それに「美味しいもの巡り」をかなりしました。三重県は本当に「食の王国」ですね。

—三重県をお気に入りいただいたようですね。

はい。東京に行く際にはもっと三重県をPRしようと思っています。個人的にはリニア新幹線が三重県まで早く開通してくれないかなあと…。単身赴任なので、東京で待っている家族の満足度も高まりそうです。（笑）



Q2 どのような研究をされているのでしょうか。

「主に精神科訪問看護やアウトリーチに関する制度設計及び看護技術開発の研究に携わっています。」って言っても、何のことか専門家にしか分かりませんよね。もう少し説明しますね。

精神疾患を患うと、「精神科病院に長く入院する」「社会復帰は難しい」って思われているかもしれませんが、今や世界的に入院医療から地域生活を中心とした支援へと変わってきています。

日本でも、政策として、10年以上前からこういった流れに変わってきています。こういった政策について第三者の視点からの分析や、在宅看護に必要な看護技術の開発に、研究者として取り組んでいます。

Q3 大学院の専門看護師（CNS）コースについても教えてください。

本学は、三重県内で唯一、精神看護の専門看護師（CNS）を養成するコースを大学院に設置しています。

専門看護師は、簡単にいうと「特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師」の認定資格です。精神看護を含め13分野あり、最新のデータでは全国でおよそ1,800人の専門看護師が活躍しています。三重県はまだ有資格者が少ないです。

精神看護分野では、主に精神科病院での実践を中心とする専門看護師以外に、総合病院における「精神科リエゾンチーム」の中核として活躍するリエゾン精神専門看護師がありまして、本学ではどちらの養成にも対応しています。

「精神科リエゾンチーム」は診療報酬上の加算もありますので、精神病床を持たない県内の各総合病院様にも配置を強くお勧めしているところです。

木戸芳史 准教授 プロフィール

2002年 神戸大学医学部保健学科卒。

精神科病院や訪問看護ステーションでの勤務と並行しながら、

2010年に東京大学大学院医学系研究科の修士課程、

2016年に博士課程を修了、博士（保健学）。

聖路加国際大学（旧・聖路加看護大学）助教を経て、2016年度より現職。



大学の出来事

大学の出来事

地域交流センター「第1回公開講座」

9月3日(日)に、地域交流センター「第1回公開講座」を開催しました。

とりわけ、大講義室で開催された健康講座では、参加者の皆さんは大西範和教授講演の聴講に続き、白石葉子教授の進行で「もしもしかめさん」「アルプス一万尺」など誰もが知っている歌に合わせたチェアエクササイズや、ボールを使った軽い筋トレを行いました。

なお、同日本学で実施した元プロ野球選手の山本昌さんの講演も大いに盛り上がりました。



9月3日(日)

教育懇談会

9月9日(土)に、教育懇談会を開催しました。当日は、98組の保護者の方にご参加頂きました。

学長、学生部長等から学生の修学や生活、就職状況について説明後、各ブースに分かれ保護者の方と教員が個別面談を行いました。

参加された保護者の方からは「学校の方針や内容がよく分かった」「大変分かりやすい説明で安心と納得感を抱いた」等の声を頂きました。

なお、本学の方針や取組内容については、今後もMCNレポートやホームページで伝えてまいります。



9月9日(土)

看護管理者会議

9月19日(火)に、看護・介護の第一線で活躍されている管理者の方々をお招きし、本学学長との意見交換会を開催しました。

学長から、本学が看護人材の育成のみならず三重県の看護の質向上の拠点となるとともに、新たな看護基礎教育の在り方にチャレンジしたい思いを説明したところ、36人の参加者の皆さんそれぞれからも、一人ひとりの看護師はもとより自施設の病棟等、組織の質向上への前向きなご意見を頂きました。



9月19日(火)

国際看護実習Ⅱ

英国スコットランド グラスゴー大学と締結している交換留学協定に基づき、9月24日(日)から15日間、4年生2名がグラスゴー大学にて実習を行いました。

学生は慣れない英語に苦闘しながらも、講義や施設見学を通じて日本と比較しながら英国の医療や看護について学びました。また日本の文化や保健医療についてプレゼンテーション発表も行いました。

11月7日(火)に行われた実習報告会では、国際看護実習への参加を希望する学生が熱心に耳を傾けていました。



9月24日(日)～
10月8日(日)

キャンパスカレンダー

キャンパスカレンダー(平成29年度後期)

10月 10日(火) 後期授業開始

11月 13日(月)～12月22日(金) 領域別看護学実習
(3年生)

12月 27日(水)
卒業研究発表会



1月 9日(火)～19日(金) 領域別看護学実習(3年生)
22日(月)～3月2日(金) 公衆衛生看護学実習(3年生)
30日(火)～2月14日(水) 後期定期試験期間

2月 23日(金) 認定看護師教育課程「認知症看護」修了式

3月 12日(月)～24日(土) 国際看護実習I
(3年生/自由科目)
17日(土) 卒業式・修了式

※日程は予定を含んでおり、変更となる場合があります。

NHKハートフォーラム・三重県立看護大学 第3回公開講座 「目で見てわかる認知症ケア」

●日時：1月27日(土) 14:00～16:00 ●場所：三重県立看護大学 講堂

●講師：六角 僚子(特定非営利活動法人認知症ケア研究所代表理事/獨協医科大学 看護学部教授)

認知症の方を支えるノウハウを、認知症ケアの第一人者である六角先生が、長年の現場経験と教育・研究者の視点に基づき、「劇団いくり」の寸劇を交えて、わかりやすく解説をします。



劇団いくり

お申し込み

1月24日(水) 17時までに次のいずれかをお願いします。

電話:059-233-5601(平日:8:30～17:00) FAX:059-233-5666 E-Mail:kikakusomu@mcn.ac.jp

(後援:三重県、公益社団法人三重県看護協会、津市教育委員会)

10月26日(木) 学内のみかん収穫



平成21年4月に法人化を記念して大学正面玄関に向かう丘に植樹されたみかんの木(品種名「みえ紀南1号」)5本が今年も実をつけました。

この品種は糖度の高さが特徴の極早生温州みかんで、いずれも直径約5～10cmと大ぶりです。

10月26日(木)午後、学長と職員有志数人がみかん約600個を収穫しました。

みかんは学生・教職員の貴重なビタミン源となりました。



法人化記念植樹看板



実ったみかん(10月撮影)



収穫(10月26日)

さらなる発展と人材育成の充実に向けて ～学生の修学支援のための基金への寄附の報告とお願い～

本学では開学20周年を契機に学生の修学支援に活用するための基金を創設し、9月に同窓会や後援会等の皆さまに、寄附を募ったところ、多くの皆さまからご厚志を賜っております。

◆平成29年11月末現在の状況

寄附総額 5,096,000円

寄附者数 個人 36人／法人等 6団体

本学の発展と人材育成のさらなる充実を図るため、引き続き、皆様のご支援をお願いしているところです。何卒格別の御協力と御支援をいただきますようお願い申し上げます。



お問い合わせ先 事務局企画総務課 TEL 059-233-5600



本学マスコットキャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。



学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されています。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受けて認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



公立大学法人

三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<http://www.mcn.ac.jp/>



広告

かわりあうすべての人々の
安心と満足を創造することが
わたしたちの**使命**です。

平成29年からヨナハ総合病院・ヨナハ産婦人科小児科病院の
総看護部長・総合病院は副院長を兼務させていただいております。
仕事も私生活も充実した日々を過ごせるように体制を整えています。
多職種との協働が進んでおりアットホームな病院です。
ぜひお気軽にご見学にお越しください。

看護部長 岩田 広子

見学随時受付中

**新病院移転に向けて
職員募集中**

平成32年度竣工予定
ヨナハ丘の上病院(仮称)

医療法人 尚徳会
心あたたまる医療を
ヨナハ総合病院

〒511-0838 三重県桑名市和泉八丁目264-3
TEL.0594-23-2415(内線)

ヨナハ産婦人科 小児科病院	渥の山介護老人 保健施設
ヨナハ介護老人 保健施設	ヨナハ在宅ケアセンター ・ヨナハ在宅ケアセンター 見学会

広告

藤田保健衛生大学 七栗記念病院
FUJITA HEALTH UNIVERSITY NANAKURI MEMORIAL HOSPITAL

**～生きる力を
支える医療へ～**

平成29年8月
先進リハビリテーション棟 竣工

～看護師募集～

**病院説明会 毎月第4土曜日開催
インターンシップ 随時受付中**

〒514-1295 三重県津市大鳥町 424-1
Tel.059-252-1555 FAX 059-252-1383

藤田保健衛生大学七栗記念病院